



おつか なおゆき
大塚 直幸 さん
下浦町・85歳
瑞宝双光章
元公立小学校長



ふじさき まさひろ
藤崎 正博 さん
倉岳町宮田・73歳
旭日双光章
元天草市議会議員



はま ひろあき
濱 廣昭 さん
楠浦町・73歳
旭日双光章
元天草市議会議員



ひらもと ひろみ
平元 廣美 さん
本渡町本渡・61歳
瑞宝単光章
元本渡はまゆう保育園保育士



たかいし みつあき
高石 光明 さん
魚貴町・64歳
瑞宝単光章
元天草市消防団副団長



あらかき かつのり
荒木 勝徳 さん
新和町小宮地・68歳
瑞宝単光章
角瀬灯浮標灯火監視協力者

春の叙勲
受章おめでとうございます



地域の一員として頑張ります！

天草市子ども民生委員委嘱状交付式



委嘱状を受け取る児童代表

5月12日、市社会福祉協議会が河浦小学校4年生32人に「天草市子ども民生委員」を委嘱しました。地域社会の一員としての自覚をもって自ら進んで行動できる児童になってほしいと同協議会が平成27年度から順次、各小学校の児童へ委嘱しているもの。

4年生の本山結菜さんが、「おじいちゃん、おばあちゃんに会ったら進んで話しかけます」とあいさつし、交付式終了後には、認知症サポーター養成講座を受講しました。

有明町で初めての民泊受け入れ

修学旅行生が晩柑の出荷作業を体験



晩柑の出荷作業を手伝う生徒たち

5月12～13日まで、岡山県倉敷市立児島中学校の3年生185人が、修学旅行で本市を訪れ、宮地岳町、有明町、新和町の各家庭に民泊しました。

有明町では11世帯で45人を受け入れ、生徒たちは各世帯で農作業などを体験。大浦地区の受入世帯ではJA選果場の協力のもと、晩柑やデコボンの出荷作業を手伝いました。初めての作業にとまどいながらも真剣に取り組んでいました。

イベントカレンダー

健ポ00…健康ポイント対象
(数字はポイント数)

- 1 ⑥ 第13回 西の久保公園 天草花しょうぶ祭り &食と物産大バザール【～6月4日】 9:00～19:00(西の久保公園〔本渡町本戸馬場〕)
天草文化交流館作品展【～6月4日】 9:00～17:00(天草文化交流館)
- 2 ⑤ 四郎ヶ浜ビーチ海開き 9:30～(四郎ヶ浜ビーチ西側管理棟)
- 3 ④ 第13回 西の久保公園 天草花しょうぶ祭り 「さるいてしょうぶ!」 健ポ15 9:00～(大矢崎緑地公園～西の久保公園)
第13回 西の久保公園 天草花しょうぶ祭り 「ハイヤでしょうぶ!」 19:00～(西の久保公園〔本渡町本戸馬場〕)
- 4 ④ えびすビーチ海開き 8:00～(えびすビーチ〔倉岳町〕)
二江ぐるっとウォーク 健ポ15 10:00～(五和漁村センター)
- 5 ⑤
- 6 ④
- 7 ⑥ 有明講座「初心者の太極拳教室」 10:00～(有明体育館)
- 8 ⑥
- 9 ⑤
- 10 ④ 河浦地区公民館全体講座「教養講座(法話)」 10:00～(一町田地区コミュニティセンター)
- 11 ④ 第32回天草宝島国際トライアスロン大会 健ポ45 8:00～(本渡海水浴場スタート、大矢崎緑地公園フィニッシュ)
- 12 ⑤
- 13 ④
- 14 ⑥ 有明講座「初心者の太極拳教室」 10:00～(有明体育館)
- 15 ⑥
- 16 ⑤
- 17 ④ 天草市健康フェスタ 健ポ45 9:30～16:00(天草市民センター)
- 18 ④ 天草高校倉岳校マリンフェスタ 8:30～(えびすビーチ〔倉岳町〕)
- 19 ⑤
- 20 ④
- 21 ⑥ 有明講座「初心者の太極拳教室」 10:00～(有明体育館)
女性のための無料法律相談 10:00～12:00(市男女共同参画センターばぼらす)
- 22 ⑥
- 23 ⑤
- 24 ④
- 25 ④
- 26 ⑤
- 27 ④
- 28 ⑥ 有明講座「初心者の太極拳教室」 10:00～(有明体育館)
- 29 ⑥
- 30 ⑤

Contents 主な内容

- 3 宝島のわだい
- 7 世界遺産登録への道
- 8 災害は突然やってくる 備えは大丈夫？
- 12 牛深ハイヤ祭り
- 14 安心して産み育てるために
- 16 天草で見つけた “自分らしさ” の暮らし
- 21 児童手当現況届／天草市中小企業者等持続化補助金交付制度／臨時福祉給付金
- 22 国民健康保険税のお知らせ
- 23 あまくさん／スポーツ大好きっ子
- 24 みんなの広場
- 26 健康フェスタ／市立病院薬剤師等募集／熱中症に気をつけましょう／天草花咲プロジェクト
- 28 暮らしの情報
- 37 市民のひろば
- 41 健康ごよみ
- 42 天草の潮汐／行政相談所を開設
- 43 休日在宅病・医院／水道修繕当番店
- 44 いきいき健康

人のうごき 4月28日現在

4月中の異動		※()内は前月比	
人口	83,151 (69増)	出生	30人
男	38,943 (89増)	死亡	103人
女	44,208 (20減)	転入	437人
世帯数	37,351 (150増)	転出	295人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所・市庁舎別館 ☎291111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎732111・有 明☎531111 御所浦☎672111・倉 岳☎643111 栖 本☎663111・新 和☎462111 五 和☎321111・天 草☎421111 河 浦☎761111

ベテランも若手も大奮闘!

御所浦町ソフトボール協会・春季リーグ



▲試合のようす

御所浦町ソフトボール協会が主催する春季リーグが4月13日から5月1日まで、同町の嵐口漁民グラウンドで開かれました。昭和57年から毎年開催しているもので、年代や地区ごとに結成した4チーム・60人が参加。ホームランやファインプレーも見られ、熱戦が繰り広げられました。

最高年齢で出場した濱田祝男^{いわお}さん(67歳)は、「若手に負けられないようにがんばっています」と笑顔で話していました。

五穀豊穡を祈願し、虫を追い払う

中田地区最後の虫追い祭り



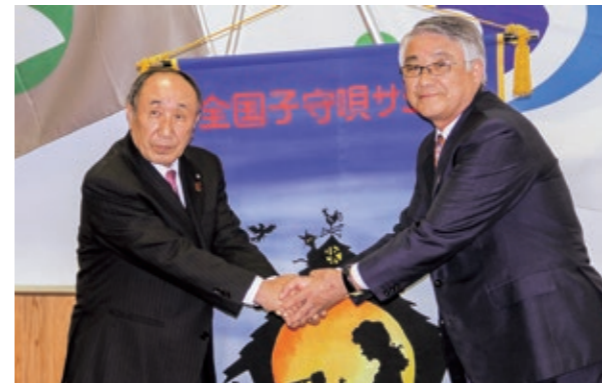
▲風が強い中、練り歩くようす

4月23日、五穀豊穡を祈願する「虫追い祭り」が、新和町の各地区で行われました。中田地区では同祭り保存会の高齢化と踊り手である子どもの減少のため、50年以上続いた伝統ある祭りが今年で最後となりました。10mの竹に五色の旗を掲げ、地区住民みんな最後の祭りを楽しみました。

保存会会長の竹本隆治さんは、「地区の皆さんに支えられてきたことに感謝します」と名残惜しそうに話していました。

子守唄で結ばれた絆

五木村との交流連携協定を締結



▲全国子守唄サミット旗の前で固い握手

4月21日、球磨郡五木村と交流連携に関する協定を締結しました。これまでの子守唄を通じた交流に加え、両地域の活性化につながる取り組みを更に進めていくもの。

同日、五木村で「五木村歴史文化交流館(ヒストリアテラス五木谷)」の開館式も行われ、昨年度天草市での開催を最後に閉幕した「全国子守唄サミット」の旗を同館で保管・展示するため、受け渡しも行われました。

うまく焼けたよ!

あまくさ子どもフェスティバル



▲パン作りを楽しむ子どもたち

4月29日、大矢崎緑地公園で「あまくさ子どもフェスティバル」が行われました。市社会福祉協議会が野外遊びの楽しさを知ってほしいと毎年実施しているもの。青空のもと多くの家族づれが訪れ、ペットボトルロケットやパン作り、伝承遊びなどを楽しんでいました。パン作りに参加した子どもは、「パンが焼けていくのがおもしろかった」と焼いたパンを頬張りながら話していました。

棚底の歴史と自然を探る

棚底探検ウォーク



▲防風石垣を見学する参加者

4月23日、倉岳町棚底地区で「棚底探検ウォーク」が開かれ、町内外から213人が参加しました。地域の歴史的遺産の伝承と健康づくりを目的に同地区振興会が開催したもの。参加者は、国指定史跡の棚底城跡や全国的にもめずらしい農業用地下水路「こぐり」、防風石垣群、アイラトビカズラ群生地など7カ所をガイドの説明を受けながら歩きました。春の陽気の下、地域の歴史と自然探検に爽やかな汗を流していました。

心と体をすこやかにする優しいヨガ

ヨガ体験講座



▲ヨガ体験講座のようす

4月22日、深海地区コミュニティセンターで「ふかみ市民学級“共生講座”」が開催され、地域住民ら20人が参加しました。

講師の宇井野直子さんから、「長い呼吸は長生きをする」との講話の後、呼吸を意識しながらヨガ体験が行われました。

参加者は、「この講座を楽しみにしていました」「日々の忙しさを忘れさせてくれます」などと話していました。

爽やかな美味しさを召し上げ

あまくさ晩柑フェア2017



▲晩柑を使った料理やスイーツ

3～8月が旬のあまくさ晩柑。果汁が多く、爽やかな酸味と上品な甘さが特徴です。規格外の果実を活用し、生産者の所得向上につなげようと、実行委員会が昨年からのフェアを開催。2回目となった今年は、天草2市1町の飲食店やホテル、生産者ら25事業者が考案した32品目が店頭に並びました。フェアは5月末で終了しましたが、一部の商品は店頭販売を継続すること。暑い夏を爽やかな味でさっぱり過ごしてはいかがでしょうか。

大きくなって戻って来て

アユがえり大作戦



▲河内川に稚アユを放流する子どもたち

4月23日、栖本町河内川で栖本小学校と和貴保育園の子どもたち13人がアユの稚魚1,500匹を放流しました。栖本地区振興会が、子どもたちに環境保全に関心を持ってもらう目的で、初めて実施したもの。バケツに入れた体長約5cmの稚アユを一斉に放流しました。参加した子どもたちは、「栖本の川で大きくなったアユを見たい」「来年も参加したい」などと話していました。

「天草の崎津集落」
世界遺産登録への道
Road to World Heritage

来年夏の世界文化遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。
今回は、市民の皆さんから寄せられた質問にお答えします。

- Q 世界遺産ってなぜできたの？
A エジプトのナイル川にダム建設計画が持ち上がり、遺跡群が水没の危機にさらされました。これがきっかけになり、人類共通の財産を保護し、後世に伝えていかなければという考え方がうまれ、「世界遺産」として登録する制度ができました。
- Q 世界遺産は、どうやって決定するの？
A 各国からユネスコ世界遺産センターに推薦書が提出され、現地調査が行われた後、ユネスコ世界遺産委員会（年1回開催）で登録の可否が決定されます。
- Q 推薦書にはどんなことが書いてあるの？
A 人類の宝物としての世界的な価値と、将来にわたって保存していくための保存体制・組織、観光客誘導などを盛り込んだ保存管理計画が書かれています。
- Q 日本にはどんな世界遺産があるの？
A 日本には20件の世界遺産があります（平成28年7月時点）。代表的なものは、富士山や厳島神社などの文化遺産が16件、屋久島や知床などの自然遺産が4件です。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、今年度の登録を待つ「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」に次ぐ22番目の世界遺産登録を目指しています。
- Q 世界遺産はどのようにして守るの？
A 世界遺産は、各国の景観法や文化財保護法などで保護されます。崎津集落は、天草市の景観条例や国の重要文化的景観として景観を守るための制度が適用されています。市では、集落の景観を損なわないように家屋の改修などに対し、補助制度を設けました。

世界遺産登録トピックス

“～つどい処～まつだ” がオープン！

5月1日、崎津資料館「みなと屋」の隣に附属施設がオープンしました。内部は、崎津集落の密集した町並や路地をイメージした24本の柱を設置。崎津集落に迷い込んだような空間で、崎津や今富に関する作品などを展示します。

6月30日までオープン記念企画展「崎津～祈りの風景～」を開催中です。ぜひご来館ください。

- 開館時間＝9:00～17:00
- 休館日＝12月30日～1月1日
- 入館料＝無料 ● 電話＝崎津資料館「みなと屋」☎⑦9911
- 駐車場＝無（崎津集落ガイダンスセンターの駐車場をご利用ください）



▲オープン式典のようす



▲崎津の風景を描いた絵画や写真

【問い合わせ先】 本庁・世界遺産推進室（河浦支所内）☎⑦1116

天草で楽しんだゴールデンウィーク

町山口川で泳ぐこいのぼり（4/23～5/7）

本渡町本渡の町山口川にこいのぼり50匹が飾られ、風を受けて元気に泳ぐ姿が見られました。これは地区振興会の事業として中山口地区の青壮年部が中心となり、町を盛り上げたいと8年前から取り組んでいるもの。こいのぼりは、地域の皆さんから譲り受けたものを飾っている。親子づれは、「子どもが喜ぶので毎年見に来ています」と話していました。



◀元気に泳ぐこいのぼり

天草西海岸春の窯元めぐり＆春窯めぐり（4/29～5/7）

天草町や苓北町の9つの窯元で「天草西海岸春の窯元めぐり」、五和・本渡地域の7つの窯元で「春窯めぐり」が開催され、お気に入りを探して、多くの客でにぎわっていました。毎年来ているという熊本市の夫婦は、「今年もいいものを見つけ出して持ち帰りたい」と話していました。



▶手に取って品定め

二江はやさき市（5/3）

五和町の二江漁港で開催された「二江はやさき市」。地元漁師を中心に構成された二江まちづくり振興会マリン部会が、漁業の活性化を目的に開催しているもの。同港で水揚げされたウニやサザエ、タイなどの海産物や二江産ヒジキを使った“いきなりヒジキだご”、ガネ揚げなどの加工品が並び、買い物客は、「二江の魚はおいしいので買いに来ました」と笑顔で話していました。



▲海産物を手にする買い物客

崎津漁協朝市（5/4）

天草漁協崎津支所で朝市が開催され、会場には多くの帰省客や観光客が訪れ、水揚げされたばかりの新鮮な魚介類や加工品などを買い求めていました。また、ブリの若魚“ヤズ”のつかみ取りやヒオウギ貝の釣り大会も実施され、参加した子どもたちは、泳ぎまわるヤズをつかまえようと必死に追いかけていました。



▶ヒオウギ貝の釣り大会

ジャガジャガ祭（5/4）

天草町大江のお万ヶ池公園を主会場に開催された「ジャガジャガ祭」。大江地域づくり振興会と実行委員会が、地域おこしと特産品PRを目的に開催しているもので、市内外から約3,000人が訪れました。

ジャガイモ掘り取り体験には約700人が参加し、配られたバケツに特産のメイクインを上手に詰めていました。



◀いっぱい掘ったよ！